

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2013 年 3 月 28 日(28.03.2013)



(10) 国際公開番号

WO 2013/042672 A1

- (51) 国際特許分類:
A63H 17/26 (2006.01) A63H 17/00 (2006.01)
A63F 9/00 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2012/073875
- (22) 国際出願日: 2012 年 9 月 19 日(19.09.2012)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2011-205238 2011 年 9 月 20 日(20.09.2011) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社バンダイ (BANDAI CO., LTD.) [JP/JP]; 〒1118081 東京都台東区駒形一丁目 4 番 8 号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者; および
- (71) 出願人 (米国についてのみ): 佐藤 由紀 (SATO Yuki) [JP/JP]; 〒1118081 東京都台東区駒形一丁目 4 番 8 号 株式会社バンダイ内 Tokyo (JP). 筒井

慶剛 (TSUTSUI Yoshitake) [JP/JP]; 〒1118081 東京都台東区駒形一丁目 4 番 8 号 株式会社バンダイ内 Tokyo (JP).

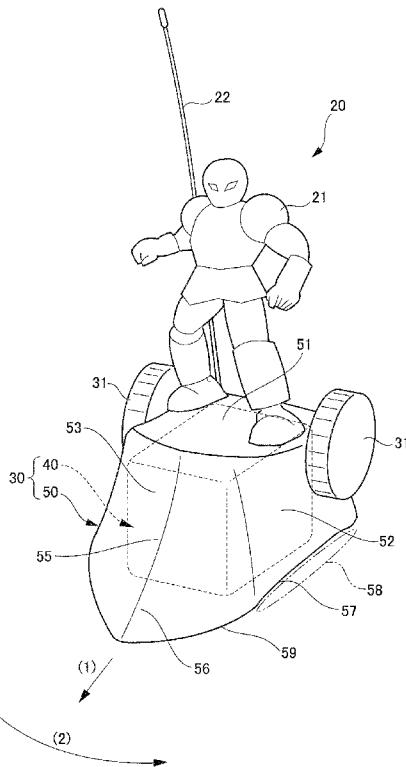
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーロパ (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT,

[続葉有]

(54) Title: TRAVELING COMBAT TOY

(54) 発明の名称: 対戦用走行玩具

[図2]



(57) Abstract: Provided is a fun traveling combat toy with which victory or defeat is determined by simple actions. The traveling combat toy (20) has: a toy body (30); a traveling means provided on the toy body (30); and a figurine (21) that is attached on the toy body (30). The front of the toy body (30) is provided with: a sloped section (55) that slopes forward and downward; and a thrusting section (56), which is provided on the front of the sloped section (55), is tapered forward and downward, and is used for thrusting between another traveling toy and the traveling surface to flip the other traveling toy over. The lower part of the toy body (30) is provided with gaps (58) into which the thrusting section of another traveling toy is thrust from the side.

(57) 要約: 簡単な動作で勝敗が決まる面白い対戦用走行玩具を提供する。対戦用走行玩具 20 は、玩具本体 30 と、玩具本体 30 に設けられる走行手段と、玩具本体 30 の上に取り付けられる人形体 21 と、を有する。玩具本体 30 の前部には、前下方に傾斜する傾斜部 55 と、傾斜部 55 の前部に設けられると共に前下方に向けて先細り、他の走行玩具と走行面の間に突入して他の走行玩具を転倒させるための突入部 56 とが設けられる。玩具本体 30 の下部には、他の走行玩具の突入部を側方から突入させる隙間部 58 が設けられる。

WO 2013/042672 A1



NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI 添付公開書類:

(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, — 国際調査報告 (条約第 21 条(3))
NE, SN, TD, TG).

明 細 書

発明の名称：対戦用走行玩具

技術分野

[0001] 本発明は、対戦用走行玩具に関する。

背景技術

[0002] 従来、複数の人形体を闘わせて優劣を競う玩具が知られている。このような対戦用玩具として、各種の技術が提案されている（たとえば、特許文献 1 参照）。

[0003] 特許文献 1 には、2 個の人形体（玩具本体）を用いた玩具対戦システムが開示される。人形体の主要素である胴体部材は、人形体を移動させるための車輪と、相手を攻撃するための左腕および右腕と、前面に設けられる可動板と、可動板の動きに連動して飛び出す頭部と、を有する。左腕あるいは右腕による攻撃が可動板に当たると、頭部が飛び出すようになっており、使用者は、人形体を移動させながら相手の可動板を左腕や右腕で攻撃して、拳闘遊びを楽しむ。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献 1：特開 2003-79964 号公報（図 4）

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] ところで、近年、単純で面白い玩具が求められており、簡単な動作で勝敗が決まる対戦用玩具が望まれている。しかしながら、特許文献 1 に開示される玩具においては、勝敗が決まるまでに、玩具本体の移動、腕部による攻撃、頭部の飛び出しを含む多数の動作を必要とする。

[0006] 本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、簡単な動作で勝敗が決まる面白い対戦用走行玩具を提供することにある。

課題を解決するための手段

[0007] 本発明の対戦用走行玩具は、走行手段が設けられた玩具本体を有する対戦用走行玩具であって、玩具本体の前部には、前方に向けて先細り形状を有する突入部が設けられ、玩具本体の下部には、側方に開放し、他の対戦用走行玩具の突入部が突入可能である隙間部が設けられる。

[0008] 本発明の対戦用走行玩具において、玩具本体から側方に突出する突出部を有し、突出部は、他の対戦用走行玩具とすれ違うときに他の対戦用走行玩具の突出部と当接することが好ましい。また、本発明の対戦用走行玩具において、突入部よりも前方に延びる棒部を有し、棒部は、他の対戦用走行玩具の突出部に当接可能であることが好ましい。また、本発明の対戦用走行玩具において、走行手段を駆動するための電池を有し、電池は、前記玩具本体の上下方向中心よりも高い位置に配置されることが好ましい。また、本発明の対戦用走行玩具において、走行手段を駆動するための電池を有し、電池は、玩具本体の左右方向中心に対し、左右いずれかの側にずらして配置されることが好ましい。また、本発明の対戦用走行玩具において、走行手段は、左右の車輪で構成され、車輪は、玩具本体の幅寸法内に収まるように配置されることが好ましい。また、本発明の対戦用走行玩具において、玩具本体の前部は、平面視で外側に湾曲して形成されることが好ましい。

発明の効果

[0009] 本発明によれば、簡単な動作で勝敗が決まる面白い対戦用走行玩具を提供することができる。

図面の簡単な説明

[0010] [図1]本発明にかかる実施形態の対戦用走行玩具を用いた対戦システムの全体構成図である。

[図2]本発明にかかる実施形態の対戦用走行玩具の斜視図である。

[図3]対戦用走行玩具の側面図である。

[図4]対戦用走行玩具の背面図である。

[図5]対戦用走行玩具の平面図である。

[図6]対戦用走行玩具の底面図である。

[図7]突出部の形状を説明する図であり、(a)は図4のA矢視図、(b)～(d)は変形例を示す図であり、(a)のB-B線断面に相当する図である。

[図8]対戦用走行玩具の作用説明図であり、(a)は衝突前の2個の走行玩具を示す図、(b)は突入部と隙間部を拡大して示す図、(c)は衝突後の2個の走行玩具を示す図である。

[図9]突出部の作用説明図であり、(a)は衝突前の2個の走行玩具を示す図、(b)は衝突後の2個の走行玩具を示す図である。

[図10]前壁の丸みの作用を説明する図である。

[図11](a)は対戦用走行玩具の変更例の構成を説明する図、(b)は棒部の作用を説明する図である。

[図12]対戦用走行玩具の他の変更例の構成を説明する斜視図である。

発明を実施するための形態

[0011] 以下、添付図面を参照して、本発明を実施するための形態（以下、実施形態）について詳細に説明する。なお、実施形態の説明の全体を通して同じ要素には同じ番号を付している。また、前後・左右は、対戦用走行玩具の進行方向に対する前後・左右とする。

[0012] 本発明にかかる対戦用走行玩具を含む対戦システム10は、台11と、台11の走行面12を走行する複数（ここでは2個）の対戦用走行玩具20、20Aと、を有する。走行玩具20、20Aは、たとえば、無線操縦されるいわゆるラジコンである。

[0013] 対戦システム10では、複数の使用者がそれぞれの送信機13、13Aを操作して走行玩具20、20Aを移動させ、相手の走行玩具20、20Aに接触させたり衝突させたりする。たとえば、所定時間内に走行玩具20、20Aを転倒させることで、勝敗を決める（相手の走行玩具を転倒させた者が勝者）という設定である。なお、相手の走行玩具20、20Aを台12から落としたり、相手の人形体21、21Aを落としたりすることで、勝敗や優劣を決めることもできる。

- [0014] 走行玩具 20 の構成を図 2 ～図 6 に基づいて詳細に説明にする。なお、走行玩具 20 A については、走行玩具 20 と基本構成が同じであるため、詳細な説明は省略する。
- [0015] 図 2 に示すように、走行玩具 20 は、玩具本体 30 と、玩具本体 30 の上に交換可能に取り付けられるキャラクタを模した人形体 21 と、を有する。玩具本体 30 は、箱状のシャーシ 40 と、シャーシ 40 を上から覆うボディ 50 と、ボディ 50 から側方に突出する左右の突出部 31 と、送信機 13（図 1 参照）からの無線信号を受信するアンテナ 22 と、を有する。玩具本体 30 は、たとえば、直進（矢印（1）で示す方向）および信地旋回（矢印（2）で示す方向）が可能であり、所望の位置に移動可能である。
- [0016] 図 3 に示すように、シャーシ 40 の下部には、走行手段（ここでは、左右 1 対の車輪 41）が設けられる。車輪 41 は、シャーシ 40 の後部寄りに設けられ、電動モータ等の駆動手段（図示省略）により駆動される。また、車輪 41 の前側には、走行面 12 に対してシャーシ 40 の前部を支持する支持部（たとえば、走行面を摺動する摺動部材や一般的な従動輪など）42 が設けられる。なお、走行手段は、車輪に格別に限定されるものではなく、走行面 12 に対して走行玩具 20 を移動できる手段であれば、構成は任意である。
- [0017] また、シャーシ 40 には、駆動手段に電力を供給する電池（たとえば乾電池）43 および電池ボックス（図示省略）が設けられる。電池 43 および電池ボックスは、玩具本体 30 の上下方向中心 C1 よりも高い位置に配置されることが好ましい。すなわち、走行玩具 20 の構成品の中でも比較的質量の大きい電池 43 を高い位置に配置することで、走行玩具 20 の重心位置が高くなるため、走行玩具 20 が不安定になり、転倒し易くなる。
- [0018] なお、シャーシ 40 の一部分（たとえば、上部や下部など）を取り外し可能に構成し、この部分を蓋体として用いることにより、電池 43 を交換したりシャーシ 40 内に各種の構成部品を組み込んだりすることができる。
- [0019] ボディ 50 は、シャーシ 40 に着脱自在に取り付けられる。ボディ 50 は

、下方に開放した略箱状を呈し、シャーシ40の上面を覆う上壁51と、シャーシ40の側面を覆う側壁52と、シャーシ40の前面を覆う前壁53と、シャーシ40の背面を覆う後壁54と、を有する。上壁51からは、支持体32が上方に延びる。支持体32の先端部32aには、人形体21の所定箇所（ここでは人形体21の腰部付近）が着脱自在に取り付けられる。

[0020] 前壁53は、前下方に傾斜する傾斜部55を有する。傾斜部55の前下部には、他の走行玩具20A（図1参照）の下部を側方からえぐるように突入する突入部56が設けられる。突入部56は、前下方に向けて先細り、その尖鋭な先端56aは、走行面12に近接する。他の走行玩具20A（図1参照）の下に突入し易くするため、突入部56および傾斜部55に、側面視で内側に湾曲する丸みR1を設けることが好ましい。また、先端56aの走行面12からの高さ位置P1は、側壁52の下縁57の高さ位置P2（あるいはシャーシの下面44の高さ位置P3）よりも低く設定することが好ましい。

[0021] 図4に示すように、玩具本体30の下部には、側方に開放する隙間部58が形成される。隙間部58は、走行玩具20と走行面12の間に形成される空間であって、側壁の下縁57からシャーシの下面44にかけて形成される。この隙間部58には、他の走行玩具の突入部56A（図1参照）が突入可能である。

[0022] 左右の側壁52は、下方に行くに従って左右方向に拡がる形態であることが好ましい。たとえば、側壁52に、内側に湾曲する丸みR2を設け、左右の側壁52の下部の幅寸法W1を上部の幅寸法W2より大きく設定する。これにより、下縁57がやや外向きに形成されるので、他の走行玩具の突入部56A（図1参照）が隙間部58に入り易くなる。

[0023] 図5に示すように、電池43は、玩具本体30の左右方向中心C2に対し、左右いずれかの側（ここでは、矢印（3）で示す左側）にずらして配置してもよい。このように、質量の大きい電池43の重心を左右方向中心C2に対して偏心させると、電池43を配置した側に走行玩具20が転倒し易くな

る。これにより、電池 4 3 を配置した側とは反対側の側部を、衝突に弱い弱点とすることができる。

[0024] 前壁 5 3 の下縁 5 9 は、平面視で外側に湾曲するように形成されることが好ましい。たとえば、下縁 5 9 を平面視で先方に向けて先細るように略 V 字状に形成する。そして、突入部 5 6 の先端 5 6 a に丸み R 3 を設け、先端 5 6 a の左右両側の縁部にも丸み R 4 を設ける。なお、丸み R 3, R 4 の大きさは、任意に設定可能である。なお、前壁 5 3 と同様に、後壁 5 4 の下縁 6 1 に丸み R 5, R 6 を設けてもよい。

[0025] 図 6 に示すように、左右の車輪 4 1 は、玩具本体 3 0 の幅寸法内に収まるように配置されることが好ましい。ここでは、左右の車輪 4 1 の幅寸法 W 3 をボディ 5 0 の幅寸法 W 4 (より好ましくは、シャーシ 4 0 の幅寸法 W 5) よりも小さく設定する。このように車輪 4 1 の幅を狭く設定することで、走行玩具 2 0 は、左右方向の転倒角度が小さくなり転倒し易くなる。

[0026] 次に、突出部 3 1 の構成を図 7 に基づいて説明する。

図 7 (a) に示すように、突出部 3 1 は、略円盤状であり、他の走行玩具とすれ違うときに他の走行玩具の突出部 3 1 A (図 1 参照) と当接する。この突出部 3 1 は、矢印 (4) で示す下半部側のみの形態 (略半円盤状) に形成してもよい。このように半円盤状に変更可能である点については、以下に述べる突出部 3 1 の変形例についても適用可能である。

[0027] 図 7 (b) に示すように、突出部 3 1 は、平面状の側面 3 1 a と、テーパ状の外周面 3 1 b とを組み合わせた円錐台状でもよい。また、図 7 (c) に示すように、突出部 3 1 は、外側に湾曲した凸曲面 (たとえば球面) 3 1 c とテーパ状の外周面 3 1 d を組み合わせた形状でもよい。さらに、図 7 (d) に示すように、突出部 3 1 は、側面全体を凸曲面 (たとえば球面) 3 1 e で形成した形状でもよい。なお、突出部 3 1 の形状は、これらの形状に限定されるものではなく、凹曲面状や多面体状など、走行玩具 2 0 に求められる仕様に応じて任意に変更可能である。また、突出部 3 1 の外周面や側面にローレット状の溝や筋等を設けてもよい。

[0028] 以上、説明した走行玩具 20、20A の作用を図 8～図 10 に基づいて説明する。図 8 (a) に示すように、走行玩具 20 の側部に向けて、他の走行玩具 20A が走行すると、図 8 (b) に示すように、他の走行玩具 20A の突入部 56A が隙間部 58 に側方から突入する。図 8 (c) に示すように、他の走行玩具 20A がさらに前進すると、突入部 56A が走行玩具 20 と走行面 12 の間をえぐるように突入する。すると、走行玩具 20 が傾斜部 55A に乗り上がって傾く。結果、矢印 (5) に示す向きに、走行玩具 20 が転倒する。

[0029] また、図 9 (a) に示すように、走行玩具 20 と他の走行玩具 20A がすれ違おうと、図 9 (b) に示すように、突出部 31 と突出部 31A が衝突する。この衝突により、たとえば、突出部 31 が突出部 31A に跳ね返されたり乗上げたりすると、走行玩具 20 は、自立安定性を失い、矢印 (6) に示す向きに転倒する。

[0030] このように作用する走行玩具 20、20A によれば、使用者は、突入部 56、56A あるいは突出部 31、31A を使って攻撃し、相手の走行玩具 20、20A を転倒させることができる。このように、勝敗が決まるまでの動作は、走行玩具 20、20A を走行させて相手の走行玩具 20、20A を転倒させる動作のみである。したがって、本実施形態によれば、簡単な動作で勝敗が決まる面白い玩具を提供することができる。

[0031] また、図 10 に示すように、本実施形態では、前壁の下縁 59 を外側に湾曲するように形成した。これに対し、前壁の下縁を湾曲させずに直線状に形成することも可能である。しかし、前壁の下縁を直線状に形成すると、直線部や角部によって走行玩具の転倒が妨げられる。すなわち、走行玩具が転がりにくくなる。この点、本実施形態では、下縁 59 に丸み R3、R4 を設けたので、走行玩具 20 が転倒時に走行面 12 を転がり易い。結果、走行玩具 20 をより容易に転倒させることができる。

[0032] 本実施形態の走行玩具によると、転倒しやすい形状になっており、走行玩具同士がぶつかった際にバランスが不安定となるため、操作者自身も実際に自

分の走行玩具または対戦相手の走行玩具が転倒するまで、転倒するかしないかわからないという緊迫感をもって対戦に臨むことができ、より興趣性の高い対戦用走行玩具を提供することができる。

[0033] 続いて、本実施形態の変更例を図 11 に基づいて説明する。

図 11 (a) に示すように、走行玩具 70 は、突入部 56 よりも所定長さ L だけ前方に延びる棒部 23 を有する。棒部 23 は、相手の突出部 31A に当接可能である。図 11 (b) に示すように、棒部 23 の先端を突出部 31A に当てることで、相手の走行玩具 20A を矢印 (7) の向きに転倒させることができる。この変更例によれば、使用者は、突入部 56 および突出部 31 による攻撃に加え、棒部 23 によっても相手の走行玩具 20A を攻撃することができる。

[0034] 次に、本実施形態の他の変更例を図 12 に基づいて説明する。

図 12 に示すように、走行玩具 80 は、ボディ 50 の上部に取り付け部 33 を設け、この取り付け部 33 に複数種の部品を着脱自在に取り付け可能としたものである。たとえば、使用者は、対戦内容に応じて、凸曲面状の部品 34 を取り付けたり、あるいは、部品 34 を外して棒部 23 (図 11 参照) を取り付けたりすることができる。これにより、使用者は、突入部 56 および突出部 31 による攻撃に加え、部品 34 や棒部 23 等の交換部品を使って、様々な対戦を楽しむことができる。

[0035] 以上、実施形態を用いて本発明を説明したが、本発明の技術的範囲は上記実施形態に記載の範囲には限定されないことは言うまでもない。上記実施形態に、多様な変更または改良を加えることが可能であることが当業者に明らかである。またその様な変更または改良を加えた形態も本発明の技術的範囲に含まれ得ることが、特許請求の範囲の記載から明らかである。

符号の説明

- [0036] 12 走行面
20, 20A 対戦用走行玩具
23 棒部

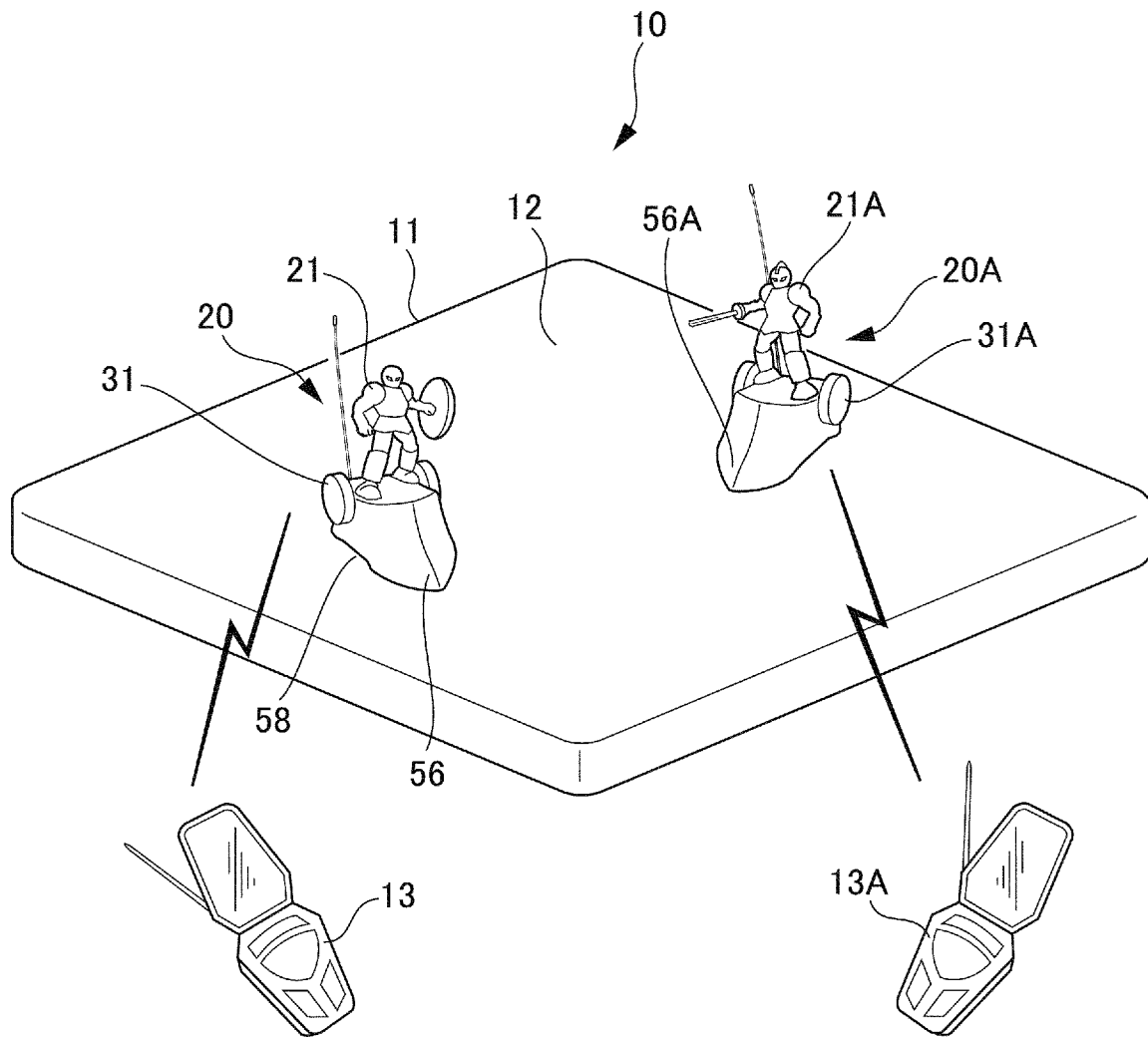
- 3 0 玩具本体
- 3 1, 3 1 A 突出部
- 4 1 車輪（走行手段）
- 4 3 電池
- 5 6, 5 6 A 突入部
- 5 8 隙間部
- 7 0, 8 0 対戦用走行玩具
- C 1 上下方向中心
- C 2 左右方向中心
- W 4 幅寸法

請求の範囲

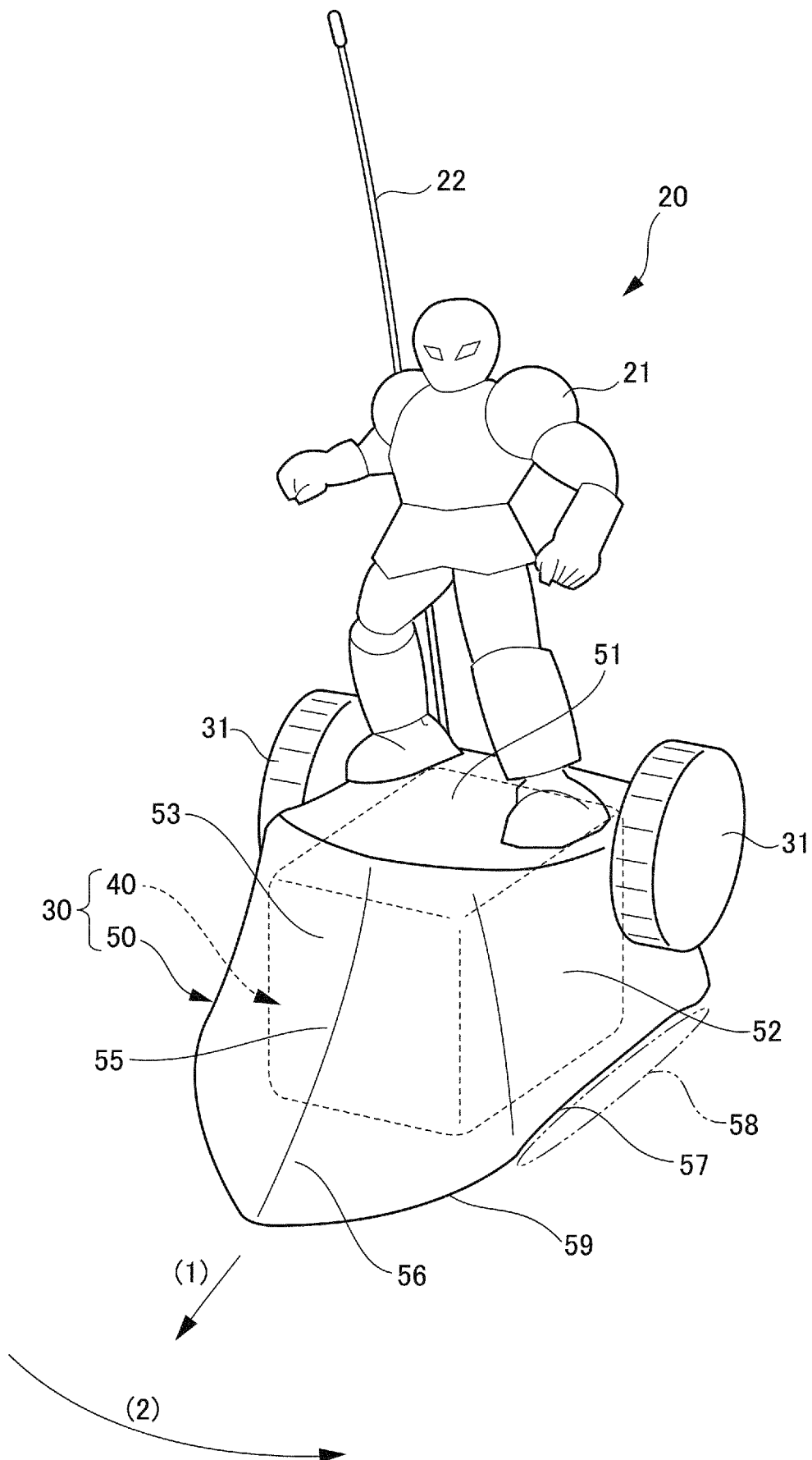
- [請求項1] 走行手段が設けられた玩具本体を有する対戦用走行玩具であって、
 前記玩具本体の前部には、前方に向けて先細り形状を有する突入部
 が設けられ、
 前記玩具本体の下部には、側方に開放し、他の対戦用走行玩具の突
 入部が突入可能である隙間部が設けられることを特徴とする対戦用走
 行玩具。
- [請求項2] 請求項 1 において、
 前記玩具本体から側方に突出する突出部を有し、
 前記突出部は、他の対戦用走行玩具とすれ違うときに他の対戦用走
 行玩具の突出部と当接する対戦用走行玩具。
- [請求項3] 請求項 2 において、
 前記突入部よりも前方に延びる棒部を有し、
 前記棒部は、他の対戦用走行玩具の突出部に当接可能である対戦用
 走行玩具。
- [請求項4] 請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一項において、
 前記走行手段を駆動するための電池を有し、
 前記電池は、前記玩具本体の上下方向中心よりも高い位置に配置さ
 れる対戦用走行玩具。
- [請求項5] 請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一項において、
 前記走行手段を駆動するための電池を有し、
 前記電池は、前記玩具本体の左右方向中心に対し、左右いずれかの
 側にずらして配置される対戦用走行玩具。
- [請求項6] 請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか一項において、
 前記走行手段は、左右の車輪で構成され、
 前記車輪は、前記玩具本体の幅寸法内に収まるように配置される対
 戦用走行玩具。
- [請求項7] 請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか一項において、

前記玩具本体の前部は、平面視で外側に湾曲して形成される対戦用走行玩具。

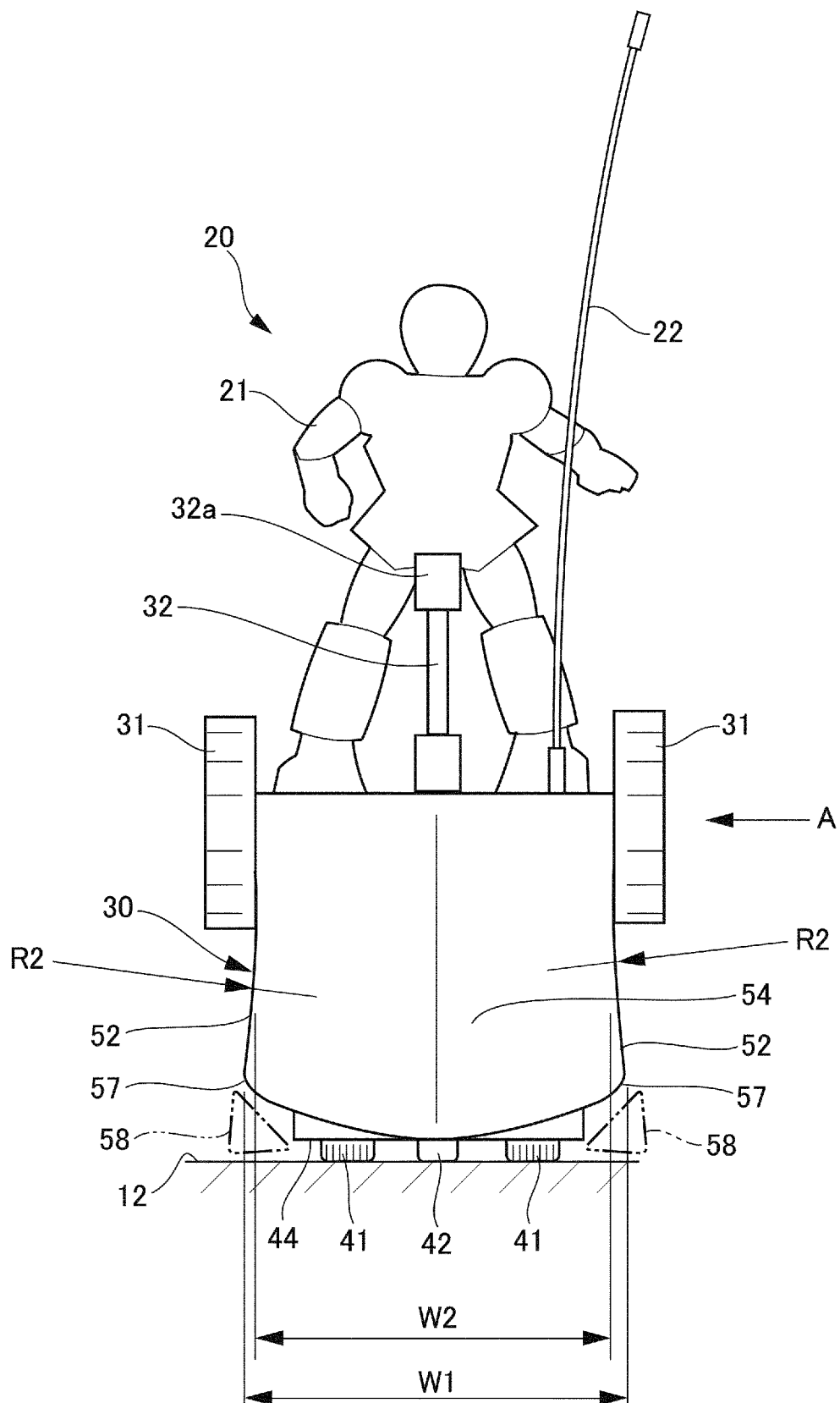
[図1]



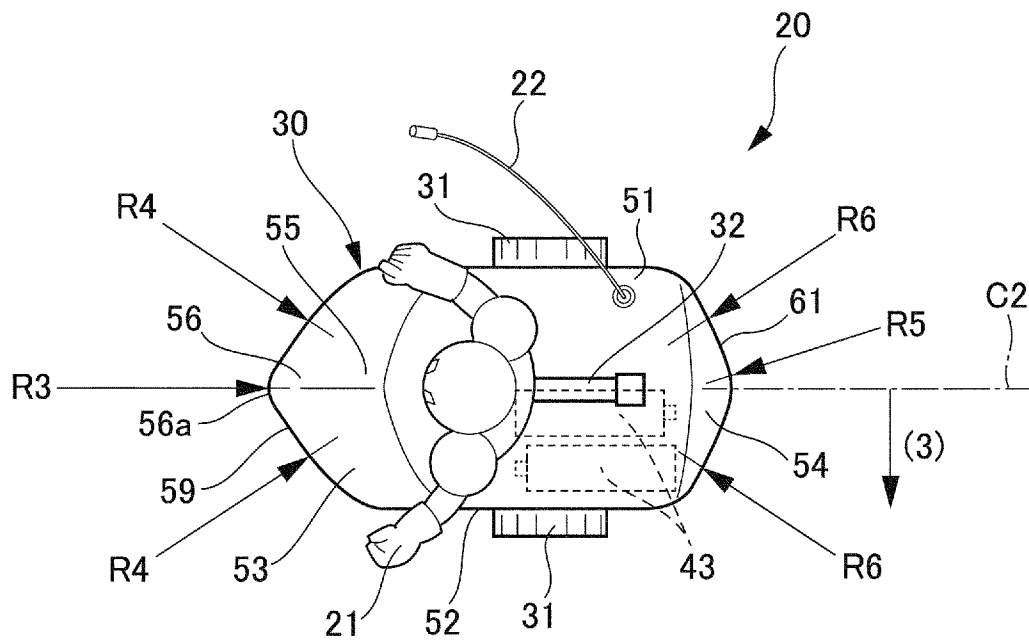
[図2]



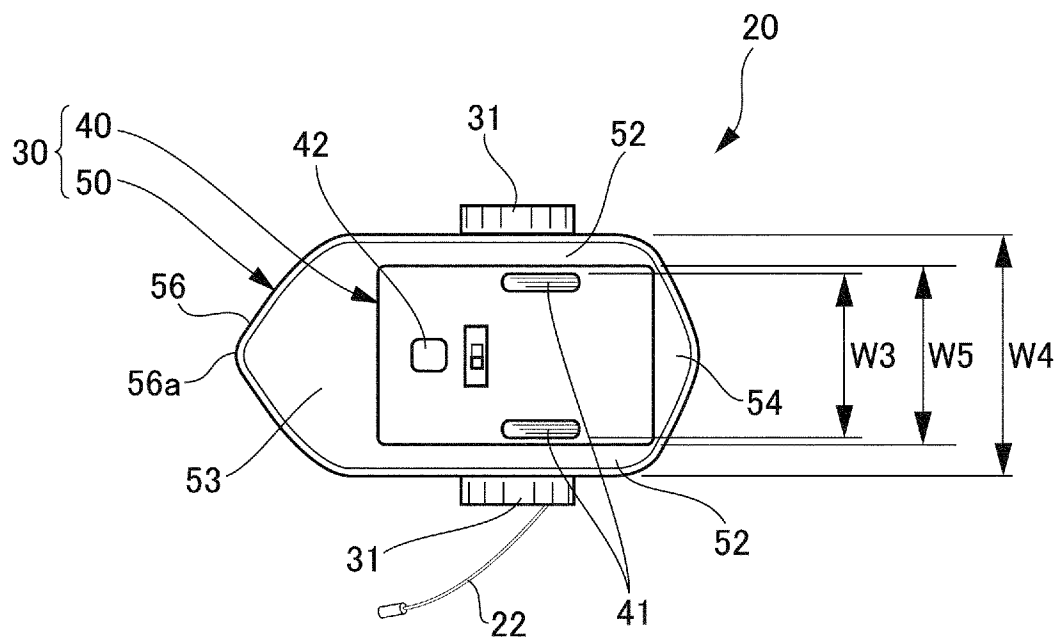
[図4]



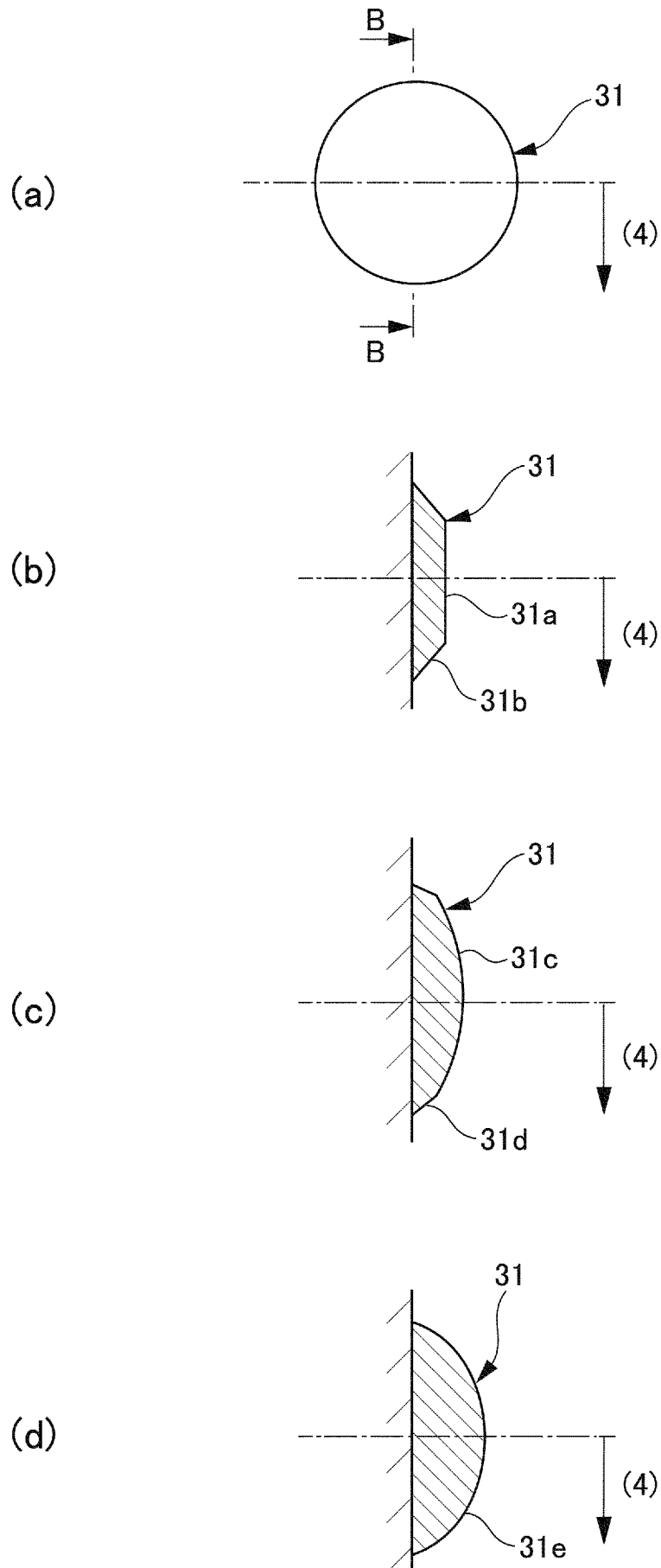
[図5]



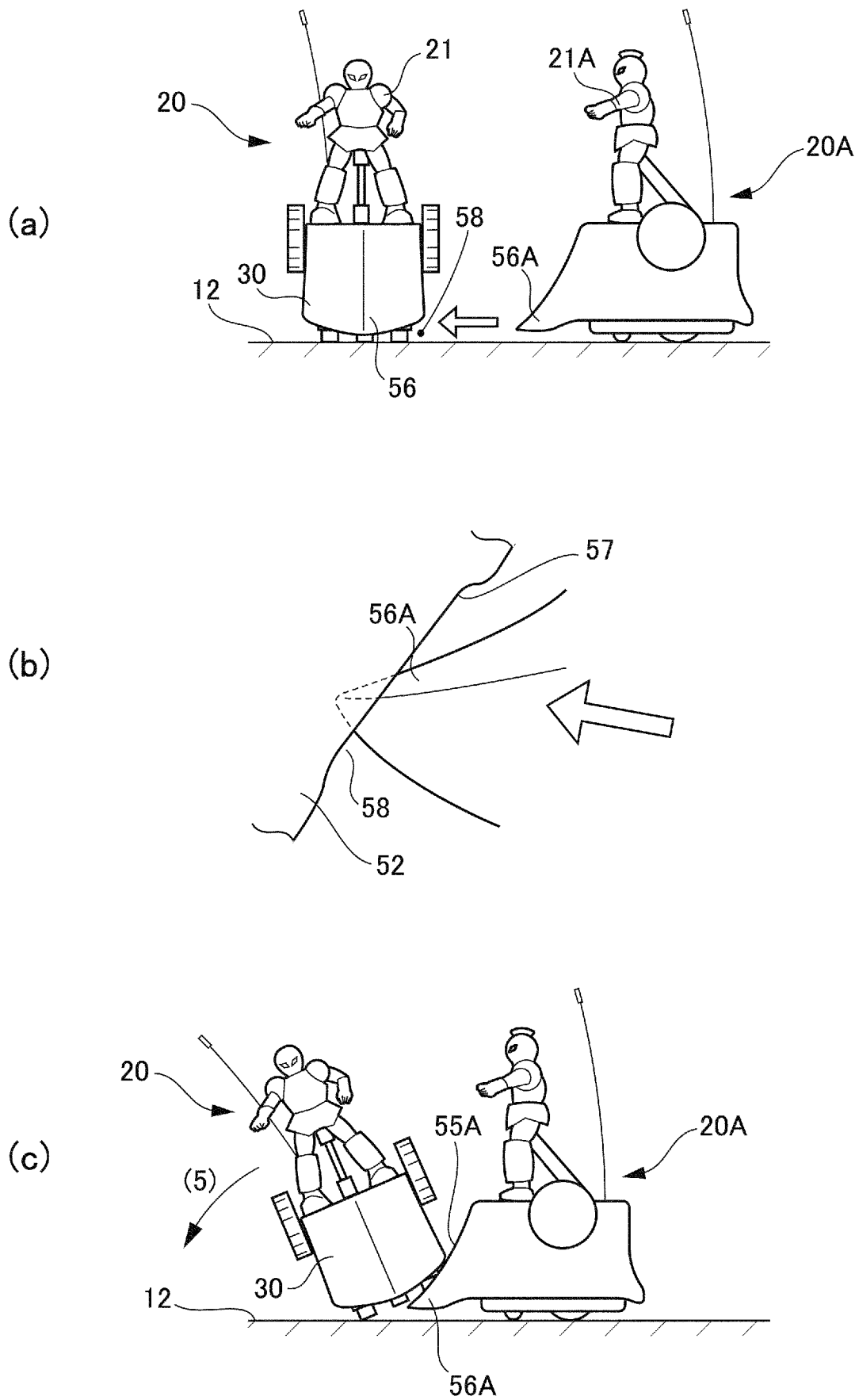
[図6]



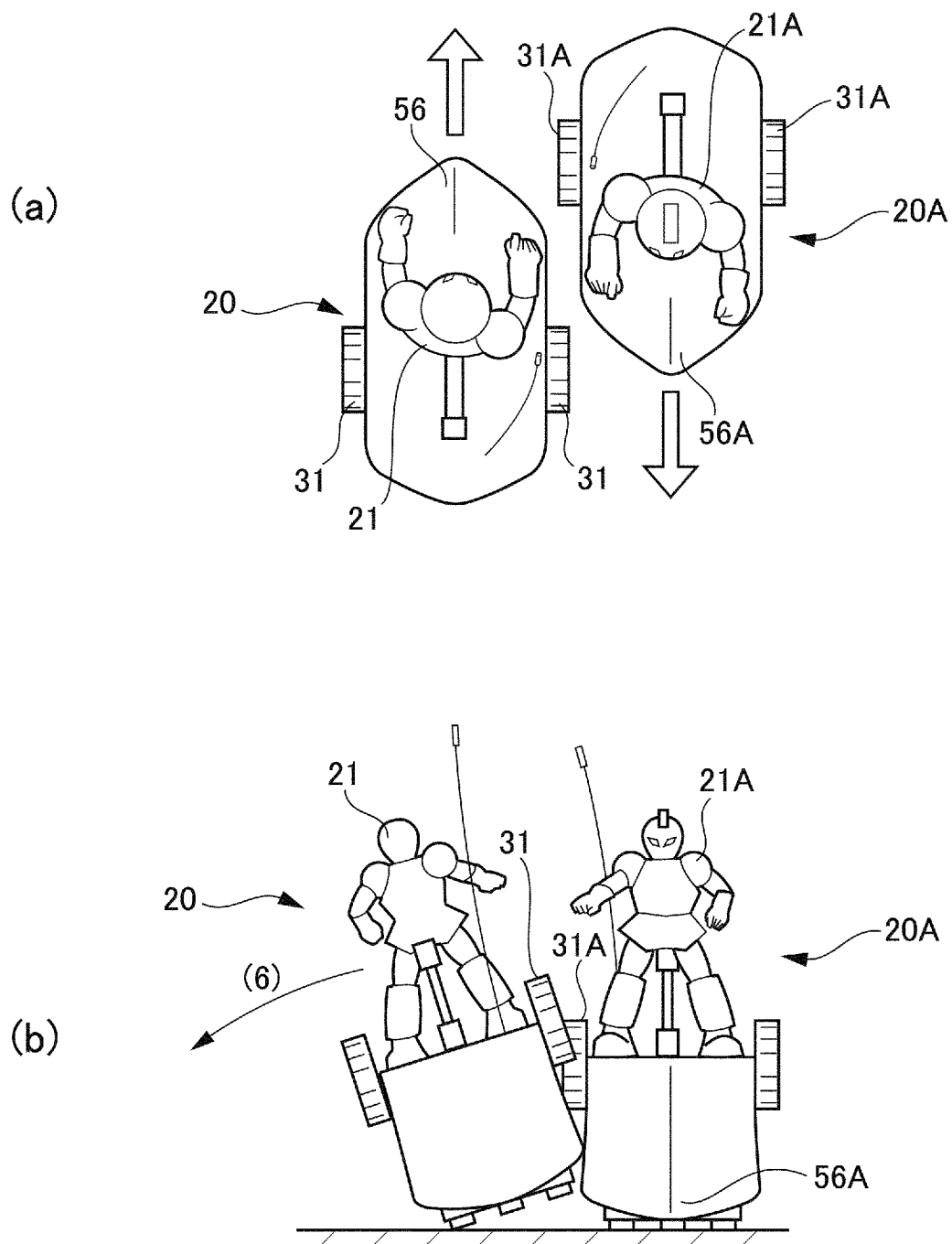
[図7]



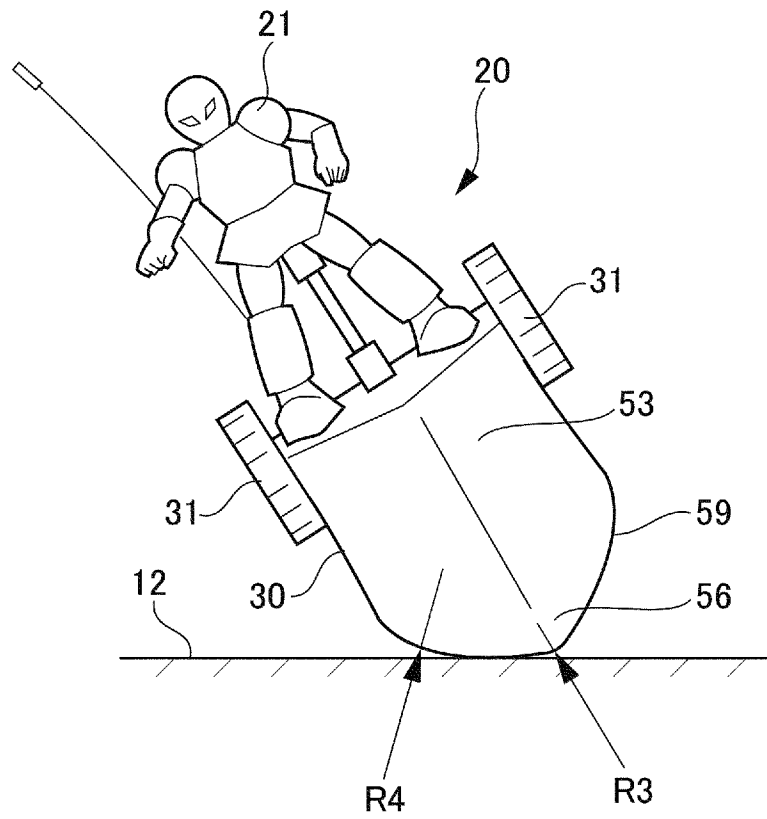
[図8]



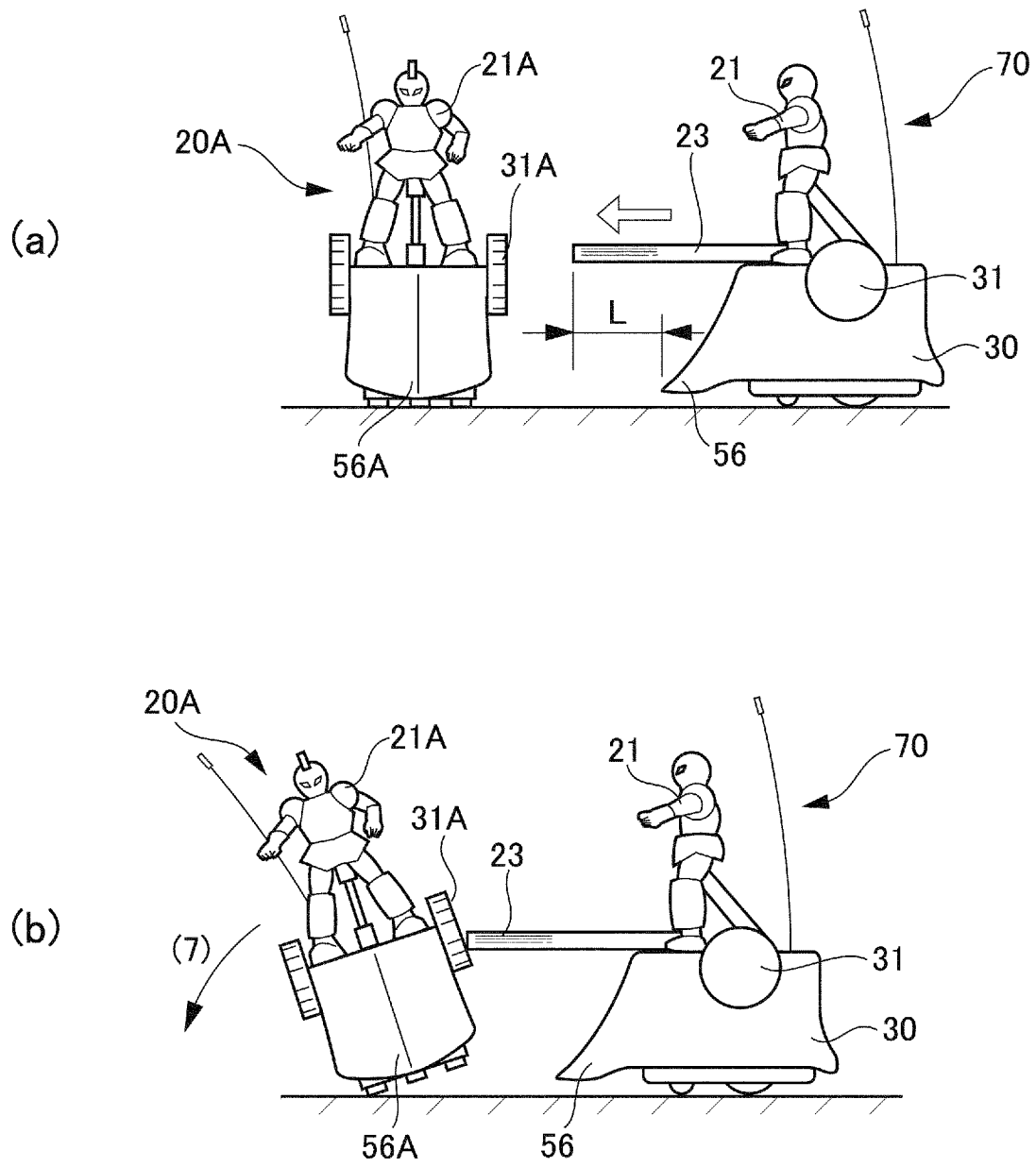
[図9]



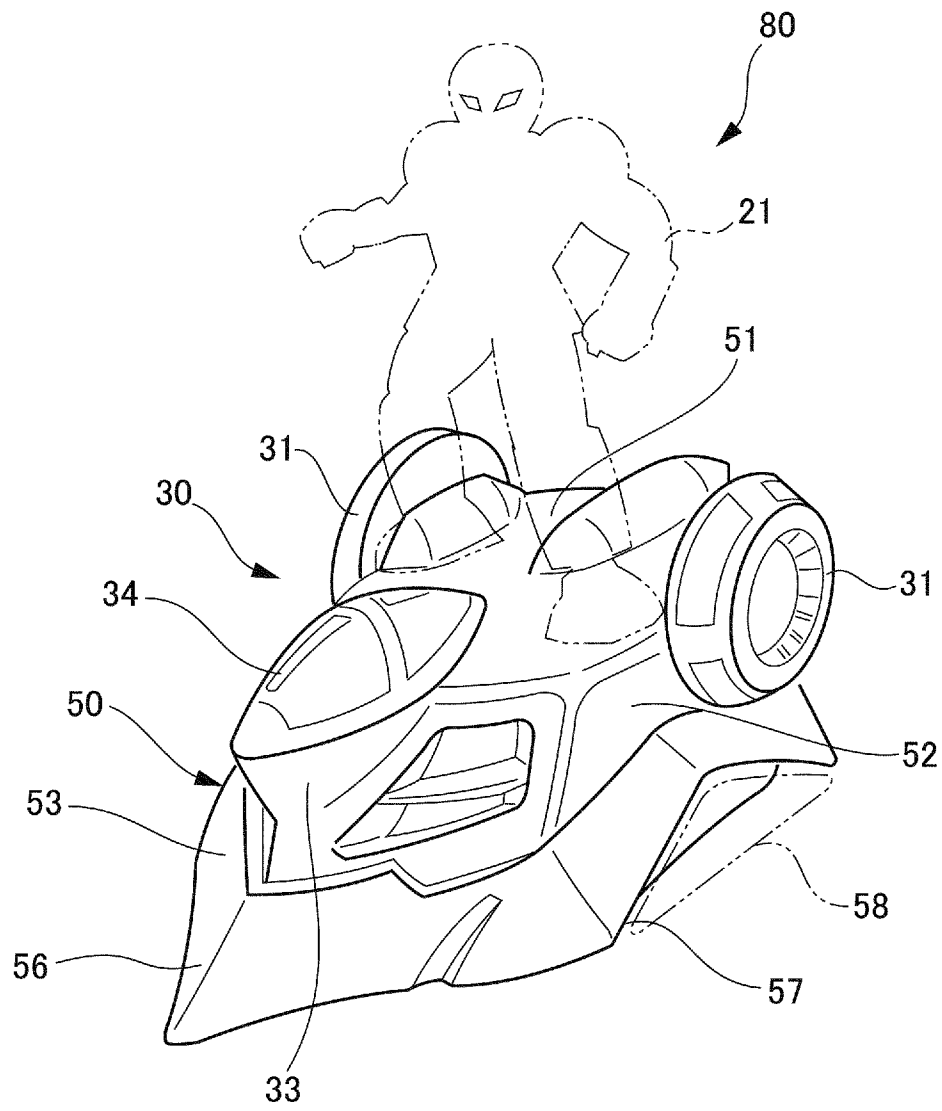
[図10]



[図11]



[図12]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2012/073875

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

A63H17/26(2006.01)i, A63F9/00(2006.01)i, A63H17/00(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A63H1/00-37/00, A63F9/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2012
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2012	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2012

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2003-311018 A (Wiz Co., Ltd.), 05 November 2003 (05.11.2003), paragraphs [0012] to [0016]; fig. 1 (Family: none)	1-7
Y	CD-ROM of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 71375/1993(Laid-open No. 34889/1995) (Takara Co., Ltd.), 27 June 1995 (27.06.1995), paragraphs [0008] to [0014], [0019]; fig. 1, 4 (Family: none)	1-7

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

“A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

“E” earlier application or patent but published on or after the international filing date

“L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

“O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

“P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

“T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

“X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

“Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

“&” document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
30 October, 2012 (30.10.12)

Date of mailing of the international search report
06 November, 2012 (06.11.12)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2012/073875

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 3092360 U (Takara Co., Ltd.), 07 March 2003 (07.03.2003), paragraphs [0028] to [0029]; fig. 10 to 11 (Family: none)	1-7
Y	JP 4588115 B1 (Bandai Co., Ltd.), 24 November 2010 (24.11.2010), paragraphs [0015] to [0023]; fig. 1 to 3 (Family: none)	2-7
Y	JP 2003-527945 A (TILBOR, Neil), 24 September 2003 (24.09.2003), paragraph [0017] & WO 2001/072391 A1 & US 2002/0137428 A1 & EP 1268023 A0 & AU 5095301 A & AU 2001250953 B2	4-7
Y	JP 2003-79964 A (Bandai Co., Ltd.), 18 March 2003 (18.03.2003), fig. 1 to 3 (Family: none)	6-7
A	JP 7-116291 A (Takara Co., Ltd.), 09 May 1995 (09.05.1995), paragraphs [0007] to [0014]; fig. 1 to 5 (Family: none)	1-7

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. A63H17/26(2006.01)i, A63F9/00(2006.01)i, A63H17/00(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. A63H 1/00-37/00, A63F9/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 2 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 2 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 2 年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2003-311018 A (株式会社ウイズ) 2003.11.05, 段落【0012】 - 【0016】, 図 1 (ファミリーなし)	1-7
Y	日本国実用新案登録出願 5-71375 号(日本国実用新案登録出願公開 7-34889 号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を記録した CD-ROM (株式会社タカラ) 1995.06.27, 段落【0008】 - 【0014】, 【0019】, 図 1, 4 (ファミリーなし)	1-7

☒ C 欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の 1 以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

3 0 . 1 0 . 2 0 1 2

国際調査報告の発送日

0 6 . 1 1 . 2 0 1 2

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (I S A / J P)
郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5
東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号

特許庁審査官 (権限のある職員)

中澤 言一

2 B

3 5 0 1

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 2 3 7

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 3092360 U (株式会社タカラ) 2003.03.07, 段落【0028】 - 【0029】, 図 10-11 (ファミリーなし)	1-7
Y	JP 4588115 B1 (株式会社バンダイ) 2010.11.24, 段落【0015】 - 【0023】, 図 1-3 (ファミリーなし)	2-7
Y	JP 2003-527945 A (ティルバー、ニール) 2003.09.24, 段落【0017】 & WO 2001/072391 A1 & US 2002/0137428 A1 & EP 1268023 A0 & AU 5095301 A & AU 2001250953 B2	4-7
Y	JP 2003-79964 A (株式会社バンダイ) 2003.03.18, 図 1-3 (ファミリーなし)	6-7
A	JP 7-116291 A (株式会社タカラ) 1995.05.09, 段落【0007】 - 【0014】, 図 1-5 (ファミリーなし)	1-7